

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                       |            |  |
|---------|-----------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 0590200085            |            |  |
| 法人名     | 株式会社 芳栄               |            |  |
| 事業所名    | グループホーム 和み(よねしろ棟)     |            |  |
| 所在地     | 秋田県能代市二ツ井町飛根字高清水265番地 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成29年9月25日            | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |  |  |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団 |  |  |
| 所在地   | 秋田市御所野下堤五丁目1番地の1  |  |  |
| 訪問調査日 | 平成29年10月18日       |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

田園地帯の立地を活かし四季を身近に感じて生活出来るように敷地内で畑作りや花壇作り、そして周辺の散歩を行っております。また、個々の能力に合わせて居室の掃除や食事の下ごしらえ、リネン交換等無理の無い程度に出来る範囲のことで頂き少しでも家庭生活を取り入れられるようなケアを行っています。ご家族との信頼関係を育むことについては毎月初めに近況報告と毎週木曜日に実施しているレクリエーションの模様、そして日常生活の写真にコメントを載せた「和みだより」、個人個人のお写真を送付しております。ご家族様に少しでも入居者様の普段の生活ぶりを実感して頂きたく開設以来の「和みだより」の発刊を続けております。入居者様、ご家族様の立場に立ったケアを心掛けており、細かい事でも報告・連絡・相談を行っております。職員は理念を常に念頭に置き心のこもったケアをさせていただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|--|--|--|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 54<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 61<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 55<br>利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)            | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 62<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 56<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 63<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 57<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 64<br>職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 58<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 59<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 60<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |   |  |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|--|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                        | いつでも目につくように玄関、ホール、事務所に貼り黙読している。職員会議の場でも全員で再確認している。   |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 地域の祭では家族や地域の方々を招待して交流を深めている。小学生の田植え、稲刈り、地域の運動会や芸達者の会にも毎年参加している。和みが地域に開かれた場所になるよう、来客者には和やかな雰囲気迎え入れるようにしている。 |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域とのつながり<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している                    | 毎月作成している「和みだより」を地域の皆様に見て頂きたいと考えている。地域の慰問ボランティア団体を招いたり、地域のお祭を前庭で行っていただき、入居者の皆様と一緒に楽しみながら交流していただける様取り組んでいる。  |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 運営推進会議で話し合った内容は月1回の職員会議で発表され地域の方やご家族の声としてサービスに反映されるように話し合っている。   |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 運営推進会議には市の福祉課職員の方にも参加して頂いている。その際、事業所の実情やケアの取り組みを積極的に伝えている。   |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 月に一度のカンファレンスで職員全体で身体拘束のマニュアルについて確認し話し合っている。  |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 虐待に関して会議などで話し合いの場を設けている。時々ニュースなどでも話題にのぼる事があるが、都度事業所内で話し合い、虐待が行われることが無いように努めている。                            |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|-----|---|--|------|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している           | 日常生活自立支援事業を利用している方がおりました。研修で学ぶ機会を持ち、職員会議で全員に周知している。  |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                               | 契約は主に管理者が説明を行っているが重要事項説明書に沿って利用者や家族と一つ一つ確認しながら疑問が残らないように努力している。                                    |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                            | 玄関に意見箱を設置している。また、月1回の支払い、面会の際にご家族に要望等を聞く機会を設けている。電話やメールでも積極的に交流を図り意見抽出し運営に反映させる為会議などで話し合いの場を設けている。 |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている   | 毎月1度職員会議を行い、各棟毎に分かれて話し合い、職員の意見や提案を聞き運営に反映させている。  |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている             | 職員会議や申し送り等で話し合う機会があり要望を発信している。   |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | 研修は積極的に参加している。職場内では今不安に思っている事を代表者に話し、会議などで研修、話し合いをしている。外部の研修に参加した際には必ず研修報告書を記入し全職員が把握出来るようにしている。   |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ほっとネットニツ井に入っており、研修等に積極的に参加しネットワーク作りを行っている。勉強会や相互の見学会も行った。  |      |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価  |      | 外部評価              |  |
|-----------------------------|-----|--|---|------|-------------------|--|
|                             |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |      |                   |  |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人の要望には常に耳を傾け、本人が望んでいることや欲しい物は担当者が購入したりし出来るだけ耳を傾けている。また、会話の中から本人が安心出来るキーワードを見つけ、安心して過ごして頂けるように職員間で共有している。 |      |                   |  |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 毎月末には近況報告として家族の方に手紙を送ったり、新しく入居されたご家族には本人が就寝された後に電話連絡するなど関係作りをしている。  |      |                   |  |
| 17                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 職員の分からない昔の話を聞いたり、出来るところを手伝ってもらったりと共に暮らすもの同士協力し合っている。業務の中で入居者の方にお手伝いして頂けることは無理の無い程度にお願いし共に行っている。           |      |                   |  |
| 18                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 体調面で変化があった場合などは速やかにご家族に連絡し、病院に駆けつけていただいたり、衣替えなども可能な範囲でご家族にお願いし協力いただいている。                                  |      |                   |  |
| 19                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 地域の行事には積極的に参加し交流を図っていただけるよう努めている。補聴器の調整などを入居後も馴染みのお店に来てもらったり、友人等の面会もご家族の了解を得られれば積極的に行っている。                |      |                   |  |
| 20                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | 毎週木曜日にはユニット間で一緒に行事を行い、皆様に楽しんで頂けるよう、スタッフが計画している。   |      |                   |  |
| 21                          |     | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている  | 担当医療機関、家族と話す機会を設け、今後の支援について進めている。デス・カンファレンスをご家族も交えて行ったり、以前入居されていたが、他事業所に入居された方にもお祭の案内を出し、遊びに来てもらったこともあった。 |      |                   |  |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 22                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 本人から希望や要望があった場合には耳を傾け、困難な場合でも月に1回の職員会議や毎日の申し送りで職員同士で確認、検討しケアに生かしている。                       |      |                   |
| 23                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている  | ご家族や身内が来られた際に会話の中で生活歴などを伺い、一人ひとりのこれまでの様子の把握に努めている。また、職員間で共有出来るように記録している。                   |      |                   |
| 24                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 自立機能、健康状態など常に気をつけ、現状の把握を行い、本人の負担にならないよう支援している。   |      |                   |
| 25                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している                        | 入居者様について意見交換を行ったり気づいたことを申し送りしチームワークを取っている。毎月の職員会議で入居者様の状態や意向、ケア提供上の課題について話し合い、介護計画を作成している。 |      |                   |
| 26                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている  | 朝、昼の申し送りやファイルの個別記録を確認し今後の支援に努めている。   |      |                   |
| 27                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している   | 年2回の消防訓練のうち、1回は地域の消防署に協力を頂いて訓練してる。また、訓練時、地域の方々に参加して頂いたこともある。夜間想定訓練も行ったことがある。               |      |                   |
| 28                                 | (11) | ○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医、歯科医、薬局との関係は良好であり、入居者様、ご家族様に説明、納得の上受診し適切な医療を受けられるよう支援している。                           |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29                               |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 月2回の協力医療機関の往診時、看護師に健康管理の相談や、指導を受けて適切な医療を受けられるように支援している。また、週1回の訪問看護を利用しており、入居者様だけでなく、職員も色々と相談しケアに生かすよう努力している。                     |      |                   |
| 30                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入居者様が入院した際には病院関係者、家族との連携を密にし、情報の交換、相談に応じ、治療出来るように努めている。  |      |                   |
| 31                               | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる    | 終末介護について本人、家族、身元引受人、かかりつけ医と話し合い、共に納得し、理解できるようにしている。終末介護について入居時や必要時にご家族へ説明しており、協力医および看護師が事業所に駆けつけていただく体勢も整っている。話し合いを重ねて支援にあたっている。 |      |                   |
| 32                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急対応時のマニュアルや緊急連絡網を作成し目につく所に貼付している。夜間の連絡体制を見直した。  |      |                   |
| 33                               | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 日中、夜間帯を想定した避難訓練を行い、職員全体が動くべき手順を確認した。   |      |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |      |                   |
| 34                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | 理念にあるように和やかな言葉、振舞を常に心掛けている。トイレや入浴時は特にプライバシーに配慮した声掛けや一人ひとりに合った対応に努めている。   |      |                   |
| 35                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている  | 生活の中で困っている事はないか、普段から聞くようにしている。また、何か困っている様子のときは直ぐに声掛けをして話を伺うようにしている。  |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 36 |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者様個人のペースを大事にし、役割を持つことにより自信を持って頂けるような支援を行っている。   |      |                   |
| 37 |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 出張理容店に来設していただいております、本人と家族の希望で行うことが出来る様支援している。   |      |                   |
| 38 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 野菜の皮むきや、簡単な下ごしらえは入居者様と一緒にやっている。畑でとれたものは入居者様と喜びを分かち合ってから料理するようにしている。入居者様も畑でとれたものだと話すと苦手なものでも口に運ぶ姿が見られ「おいしい」と喜んで下さっている。 |      |                   |
| 39 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている    | 入居者様一人ひとりの摂取量や栄養バランスを考慮し、1日1,500*。カロリーを目標に献立を作成している。また、水分量も1日を通じて1500ml確保出来るよう記録し、把握している。                             |      |                   |
| 40 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。また、食事前もうがいをしてから、口腔体操後食事を摂るという流れにし、支援している。入れ歯は夜間預かり、洗浄剤につけて、朝はめるようにしている。                   |      |                   |
| 41 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている   | 「トイレ誘導」をケアプランに入れ、出来るだけトイレで気持ちよく排泄していただける様努めている。   |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 毎日ラジオ体操を行い、食事には野菜を多く取り入れている。水分補給にも気をつけている。便秘の時は主治医より下剤等を処方してもらい、排便の有無をチェックし調整も行っている。 |      |                   |
| 43 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                   | 入居者様の体調、要望に合わせて週2回のペースで時間を決めず入浴を楽しめるように支援している。                                       |      |                   |
| 44 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 入居者様の状態を把握し、疲労感の見られる方には休息して頂いている。体温調節が難しい方には居室に温度計を置き職員が確認し適温に調整している。                |      |                   |
| 45 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                               | 受診記録を共有している。薬ケースに薬情報を添付したり、薬の変更時には申し送りや貼り紙等で2重、3重の確認を行っている。                          |      |                   |
| 46 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 洗濯物たたみや、折り紙やパズルをされたり自分で積極的に参加出来るように支援している。   |      |                   |
| 47 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 年間行事において、お花見や紅葉、散策、運動会、お買い物ツアー等普段いけない場所への気分転換の一環として支援している。入浴の無い木曜日に行事を企画、実施している。     |      |                   |



| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している   | 買い物ツアー等を行い、本人の希望するものを購入し、その際、財布を持って頂きレジで直接お金を払っていただくよう支援している。             |      |                   |
| 49 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている  | 入居者様から家族などに電話や手紙の要望があった時は要望に沿って連絡をとっていただけるように支援している。                      |      |                   |
| 50 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 昔の音楽を流したり、壁には季節に合わせた手作りの壁画を貼ったり、安心して楽しく過ごせるようにしている。温湿度も常に適温になるように気をつけている。 |      |                   |
| 51 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている   | なるべく利用者様同士の人間関係を考慮して座る場所の配置を決めている。  |      |                   |
| 52 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている   | 入居者様が使い慣れた布団やカーペットや椅子等を持って来ていただき、安心してリラックス出来るように配慮している。                   |      |                   |
| 53 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 手すりを使用していただいたり、通路に物を置かないようにしている。トイレや居室が分かりやすいように手作りで看板を作り、置いている。          |      |                   |